

第3セクターナー

あけはまシーサイドサンパーク(株)

所在地	西予市明浜町高山甲461番地1
設立年月日	平成13年12月16日
事業内容	右表のとおり
資本金	66,000千円
内、市出資額	50,000千円
出資割合	75.8%

財務状況

貸借対照表から	金額(千円)		
	前々年度	前年度	本年度
[資産の部]			
流動資産	62,548	86,858	57,561
固定資産	5,351	137,624	149,141
資産合計	67,899	224,481	206,702
[負債の部]			
流動負債	12,281	29,112	20,076
固定負債	11,200	164,041	163,956
負債合計	23,481	193,153	184,032
[資本の部]			
資本金	66,000	66,000	66,000
繰越利益剰余金	△ 21,565	△ 34,672	△ 43,330
資本合計	44,435	31,328	22,670
負債・資本合計	67,916	224,481	206,702

損益計算書から	金額(千円)		
	前々年度	前年度	本年度
売上高	170,905	207,515	241,271
内管理委託料	10,400	7,900	7,348
売上原価	63,433	70,716	81,600
売上総利益	107,473	136,799	159,671
販売費及び一般管理費	122,782	170,567	190,858
営業利益	△ 15,309	△ 33,768	△ 31,187
営業外収益	15,500	21,098	25,548
営業外費用	423	253	2,891
経常利益	△ 232	△ 12,923	△ 8,530
特別利益	0	0	0
特別損失	0	0	0
税引前当期純利益	△ 232	△ 12,923	△ 8,475
法人・住民・事業税	184	184	184
当期純利益	△ 415	△ 13,107	△ 8,658

行政支出額

項目	単位	前々年度	前年度	本年度
管理委託料	千円	10,400	7,900	7,348
その他市の負担	千円			
合計	千円	10,400	7,900	7,348

業務内容

- 農畜産物・水産物の販売
- 農畜産物・水産物の加工及び加工品販売
- 観光用土産・民芸品・地場商業商品販売
- 地域特産品に関する商品企画、製造販売
- 食料品、酒類、清涼飲料水の製造販売
- タバコの販売
- レストランの経営
- キャンプ場の経営
- 宿泊施設の経営
- 公衆浴場の経営
- 海水浴場及び公園の管理運営
- 上記に付帯関連する一切の事業

特産品
みかんジュース、ジャム、ポン酢、みかん酢、天然天草(寒天)ジュレ

管理施設

名称 西予市明浜柑橘加工施設

位置 西予市明浜町高山甲461番地1

温暖で美しい自然から生まれる西予市産の農林水産物の潜在的能力を最大限に活用し、特産品の研究開発及び販売等を行うことにより、農業者の所得の向上及び雇用の創出並びに地域の活性化を図るために、西予市明浜柑橘加工施設(以下「施設」という。)を設置する。

名称 西予市あけはまオートキャンプ場

位置 西予市明浜町高山甲461番地1

美しい豊かな自然に恵まれた環境の中で、くつろぎ、楽しみ、体験できる交流拠点の場を確保し、市民の体力向上と健康保持を図ることを目的とし、西予市あけはまオートキャンプ場(以下「キャンプ場」という。)を設置する。

名称 西予市明浜観光交流拠点施設

位置 西予市明浜町高山甲461番地1

市民に健全な保健休養の場を提供し、生活福祉の向上と健康増進を図り、併せて観光振興と交流の促進に資するため、西予市明浜観光交流拠点施設(以下「施設」という。)を設置する。

役職員の状況

役員

取締役	10人	内、市関係者	2人
監査役	2人	内、市関係者	0人

職員

正規	12人	内、市関係者	0人
非正規	22人		

地域経済効果

項目	単位	前々年度	前年度	本年度
市内仕入れ、購買額	円	13,183,940	11,568,704	10,739,277
農林水産一次生産品	円	4,449,300	7,948,382	6,588,265
農林水産加工品	円	0	0	781,087
その他	円	8,734,640	3,620,322	3,369,925
市内業務等委託額	円	50,000	341,275	93,638
その他市内支出	円	565,524	13,257,400	20,167,652
合計	円	13,799,464	25,167,379	31,000,567
観光交流効果(施設利用者数)	人	57,695	48,008	44,755

選定評価委員会による経営評価結果

地域への貢献

新設された「明浜柑橘加工場」を中心に事業規模を拡大し、雇用創出、防災、文化振興など公共目的への貢献度は高く評価されています。また、加工場は地域の生産者にとって重要な拠点として期待されています。

財務状況

新加工場への大規模投資に伴う減価償却費の増加で、営業損失(約3,118万円)が続いている。それにつれ株主資本比率も低下していますが、資金繰りは想定内で推移しています。太陽光発電の導入や電力契約の見直しにより、年間約700万円のコスト削減を見込んでいます。委員会からは「単体での黒字化」を求める意見が出ています。

事業運営

加工場の稼働率は、昨年度はみかんの不作で低かったものの、今年度は豊作により稼働率の向上が期待されます。キャンプ場は概ね順調でしたが、夏場の猛暑や台風、さらに8月のサメ出現などが客足減少の要因となり、こうしたネガティブ情報への対応が今後の課題です。レストランは外部の助言を受け改善を進めており、グランピング施設の導入など積極的な改革にも取り組んでいます。

経営管理・人材

会計処理は適正で、社内監査からの指摘はありません。全職員が経営に参画する方針を浸透させ、組織改革を進めていますが、全国的な人材不足から、料理人の確保などに課題があります。また、賃金体系の見直しを検討中です。研修は予算の都合で未実施ですが、有給休暇は法定日数を消化しています。

総評

地域貢献度は非常に高い一方で、中長期的な財務の安定性、施設の更新、人材育成が最大の課題です。コスト削減の確実な実行と加工場の安定稼働により単体黒字化を目指すとともに、料理人など中核人材の確保、集客戦略の強化が求められます。